

学校法人阪南大学中期ビジョン・中期計画(2020.4.1～2025.3.31)

中期ビジョン(5年後の展望)	学園全体のビジョン	
	学園をあげて、社会環境の変化に対応するために、Society5.0(*1) 社会到来に向けた教育の基盤を作る	
	大学のビジョン	高等学校のビジョン
	・AI、IoTやデータサイエンスなど先端的情報分野の全学的な教育システムと研究環境を整備する ・Society5.0における人間づくりの基本と考えられる教養教育、さらに国際教育および社会人基礎力教育システムを展開する ・本学独自のキャリア教育を推進し、来るべき時代においても社会が求める人材を輩出できる実学拠点を構築する	新学習指導要領、Education2030(*2) に鑑み、「次世代のニーズに応える人材」を育成する環境を整備する
	経営のビジョン	
	・学生生徒の規模を維持し、健全な財政基盤を構築する ・収支バランスを踏まえながら、学生生徒の教育学習環境を整備する	

(*1) 「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会

(*2) Education2030：OECDが近未来において求められるコンピテンシーとして発表した提言

中期計画				
教育活動の充実に向けた取組	研究活動の充実に向けた取組	学生生徒支援活動の充実に向けた取組	学生生徒受入、広報活動の充実に向けた取組	学園運営の充実に向けた取組
大 学	大 学	大 学	大 学	学 園
(1)学部教育の充実と質の保証 ①初年次教育の推進・充実 ②能動的学修の促進 ③専門教育の充実 ④社会人としての教養教育(後期教養教育)の推進 ⑤キャリア教育の推進・充実 ⑥AI・データサイエンス関連教育体制の整備 ⑦IRシステムの活用促進 ⑧ICTを利用したきめ細かい教育体制の構築 ⑨ディプロマ・ポリシーに基づく体系的なカリキュラムの編成 ⑩教育成果の確認と評価法の確立 ⑪FD・SDを通じた教育力向上への取組	(1)研究の推進 多様な研究の推進・充実 (2)研究支援体制の充実 ①AI・データサイエンス教育に関する研究組織の設置及び充実 ②外部研究資金獲得に向けた支援 ③研究成果の情報発信の強化 (3)図書館機能の充実 図書館設備の充実、電子化への対応等、利用環境の整備 (4)地域連携の推進 ①地域連携による研究の推進 ②大学間連携による研究の推進 (5)企業連携の推進 企業連携による研究の推進	(1)修学に関する支援・充実 ①入学前教育の充実 ②学修支援体制(学修支援室等)の充実 ③多様な学生への学修支援 (2)学生生活に関する支援・充実 ①課外活動の支援・充実 ②学生相談体制(学生相談室等)の充実 ③国際交流・海外留学等に関する支援・充実 ④多様な学生への生活支援 (3)就職に関する支援・充実 ①就職支援体制の強化 ②資格取得に関する支援 (4)卒業生との連携 卒業生とのネットワークを活かした取組の推進 (5)保護者との連携 保護者ホール等を利用した保護者との連携促進	(1)アドミッション・ポリシーに基づく多様な入学試験の実施 ①基本方針の策定と入学選抜方法の改善 ②入学定員の充足 ③留学生受入制度の充実 ④高大連携への取組の推進 (2)大学広報機能の充実 広報活動を通じた阪南大学ブランドの確立	(1)ガバナンス体制の強化 学園運営の透明性の確保と維持 (2)事務機構等の見直し ①事務機構改革の検討 ②人事制度の見直し検討 ③専決事項の見直し (3)業務効率の向上と労働環境の整備 ①業務プロセスの見直し ②適正な時間管理と分析の実施 (4)人材の確保と育成 ①SDの推進 ②多様な採用方法による人材の確保 (5)健全な財政基盤の堅持 ①学納金収入確保への取組の促進 ②学納金以外の収入確保への取組の促進 ③施設設備更新に係る資金の確保 (6)奨学金・減免制度の改善 点検・評価を踏まえた奨学金・減免制度の改善 (7)教育環境充実に向けた施設・設備の整備 ①キャンパス一元化に向けた施設・設備の整備 ②施設・設備の更新、省エネルギーへの取組の推進 (8)危機管理体制の点検実施 マニュアルの見直し、訓練実施
高等学校		高等学校	高等学校	大 学
(1)生徒が主体的に学習する意欲を引き出す授業の研究と推進 ① 授業目標の明確化 ② ICT教材を用いた効果的授業の推進 ③ 学習時間の長さから質への転換 ④アクティブラーニングの視点に立った授業改善の促進 (2)教職員の教育力の向上 全体研修会の開催と各教科・各部署外部研修会参加の促進 (3)生徒の自発的な進路選択の奨励と支援 ① 各種検定の促進 ②英語4技能習得や入試改革を意識した取り組みの推進 ③ 国公立・難関私大への進学実績の向上 ④阪南大学との一貫教育の推進		(1)校則の厳守 規範意識の高まりの促進 (2)いじめの防止 ① 保護者・生徒・教職員相互信頼関係の醸成 ②異なる価値観や多様性と共に普遍的人間的価値観の尊重 (3)基本的生活習慣、社会的マナー、保健衛生習慣の確立 健康面の把握、健康相談、カウンセリング・マインドの 促進 (4)学校行事やクラブ活動への積極的な参加の啓蒙 ① 他者との協働感の構築 ②自己調整力・責任感・適応力・問題解決力の習得 (5)国際交流の推進 海外研修及び留学生受け入れの推進 (6)時代に相応しいクラブの創設 クラブ活動の活性化	(1)至当な入学試験の実施 入学定員の充足 (2)高校広報機能の充実 広報活動を通じた阪南大学高等学校ブランドの確立	(1)自己点検・評価活動の実質化 ①内部質保証のシステムの充実 ②自己点検・評価活動を踏まえた改善活動の実施 (2)大学運営体制の整備 ①学長のリーダーシップに基づく取組の推進 ②組織的・継続的なSD体制の確立 (3)社会的要請の達成 ①コンプライアンスの徹底 ②情報開示への取組 (4)施設・環境の整備 ①キャンパス一元化の計画と実施 ②学生福利厚生施設の改善
				高等学校
				(1)評価活動の実質化 学校評価を基にした改善活動の実施 (2)社会的要請の達成 情報開示への取組 (3)施設の整備 学校施設設備の充実